

「課題名：HIV 診療ブロック拠点病院における HIV 感染症治療薬の処方動 向調査研究」について

○ 研究の意義・目的

抗 HIV 薬の進化は著しく、毎年のように新しい薬剤が発売されています。しかし、これまでに全国規模の処方同行調査は実施されていません。本研究の実施施設はいずれも日本の HIV 診療の地域の中核的役割を担っており、抗 HIV 療法の処方トレンドを地域、診療規模で比較、検討を行うことで本邦における HIV 医療の均てん化の状況が明らかになると考えられます。また、均てん化の状況に相違があった場合は、状況改善のための効率的な方策を立てることが可能となります。

本研究では、HIV 感染症治療薬の処方動向について調査を行い、本邦における HIV 医療の均てん化の状況を明らかにすることを目的としています。

○ 研究対象者

2015 年 1 月から 2019 年 12 月の間に抗 HIV 薬が処方された HIV 感染症患者の方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は抗 HIV 薬の処方内容、処方変更された症例の変更前後の処方と変更理由です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

また、この研究については、当大学の倫理委員会の審議にもとづく担当理事の許可を得ています。

○ 研究への参加により生じる利益ならびに不利益、負担及び予測されるリスク

本研究は、カルテ情報の調査のため、患者さんに生じる利益ならびに不利益、負担及び予測されるリスクはありません。

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間

委員会承認後 ～ 2021 年 3 月 31 日（解析期間含む）

○ 個人情報の保護

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

○ **研究に関する情報公開の方法**

学会や論文等にて発表する際は、研究対象者の氏名など、研究対象者を直ちに特定できる情報を削除（匿名化）します。

また、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障が無い範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができますので、お申し出ください。

○ **試料・情報の保管及び廃棄の方法**

匿名化した情報は薬剤部のコンピューターに保存し、研究終了 5 年後にはコンピューターから削除します。

○ **研究資金及び利益相反**

本研究の資金源は運営費交付金です。私たちはこの研究によって特許や、企業からの寄付など経済的利益を得ることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合は 2020 年 12 月 31 日までにお申し出ください。

お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-5579

広島大学病院薬剤部 薬剤師 石井聡一郎（研究責任者）